

貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日 現在

エア・ウォーターメディカル株式会社

単位： 円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 3,822,173,732】	【流動負債】	【 734,477,789】
現金	243,170	電子記録債務	134,584,872
普通預金	75,453	設備電子記録債務	7,210,500
受取手形	4,170,925	買掛金	257,170,340
売掛金	392,151,627	未払金	83,864,003
未収入金	45,683,598	未払費用	14,641,830
製品	35,626,000	設備未払金	22,192,500
原材料	586,471,009	仮受金	0
仕掛品	3,119,272	未払消費税	0
貯蔵品	2,380,676	預り金	1,723,813
前払費用	7,735,502	未払法人税等	76,057,698
前払金	1,886,098	品質対策引当金	66,944,560
立替金	5,121,779	賞与引当金	51,139,498
未収消費税	229,354,500	棚卸資産評価損引当金	12,941,773
CMS預け金	2,508,154,123	棚卸資産廃棄損引当金	6,006,402
短期繰延税金資産	0	【固定負債】	【 110,738,423】
【固定資産】	【 384,319,320】	退職給与引当金	110,738,423
(有形固定資産)	(93,081,821)	負債の部合計	845,216,212
建物附属設備	105,282,055		
構築物	1,358,000		
機械装置	31,257,015	純 資 産 の 部	
工具器具備品	508,728,048	【株主資本】	【 3,361,276,840】
一括償却資産	291,854	【資本金】	【 290,000,000】
建附設備-償却累計額	△62,100,929	【資本剰余金】	【 550,000】
建設仮勘定	15,400,000	資本準備金	550,000
構築物-償却累計額	△1,357,999	【利益剰余金】	【 2,860,726,840】
機械等-償却累計額	△22,809,697	利益準備金	71,950,000
工具等-償却累計額	△482,966,526	(その他利益剰余金)	(2,788,776,840)
(無形固定資産)	(29,606,572)	別途積立金	3,700,000
電話加入権	469,894	繰越利益剰余金	2,785,076,840
ソフトウェア	29,136,588		
商標権	90		
(投資その他の資産)	(261,630,927)		
出資金	110,000		
保証金	1,171,104		
長期前払費用	177,984,823	純資産の部合計	3,361,276,840
長期繰延税金資産	82,365,000		
資産の部合計	4,206,493,052	負債・純資産の部合計	4,206,493,052

個別注記表

令和4年4月1日から
令和5年3月31日まで

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 製品・原材料…………… 総平均法による原価法
 - (2) 貯蔵品…………… 最終仕入原価法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産…………… 定額法
 - (2) 無形固定資産…………… 定額法
 - *ただし、ソフトウェア（自社使用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
 - (3) 所有権移転外ファイナンス・リース取引… リース定額法
 - *尚、耐用年数および残存簿価は法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

3. 引当金の計上基準
 - (1) 賞与引当金
 - 従業員の賞与支払に備えるため、支給見込額を計上しております。
 - (2) 退職給与引当金
 - 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
 - (3) 品質対策引当金
 - 製品に対する無償サービスの支出に備えるため、無償交換部品実績に基づき見込額を計上しております。
 - (4) 棚卸資産評価損引当金
 - 棚卸資産の評価損失に備えるため、会計規定に基づき評価損失見込額を計上しております。
 - (5) 棚卸資産廃棄損引当金
 - 棚卸資産の廃棄損失に備えるため、会計規定に基づき廃棄損失見込額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準
 - 商品又は製品の販売に係る収益は、主に卸売又は製造等による販売であり、顧客との取引基本契約に基づいて商品又は製品等を引き渡す履行義務を負っております。当該履行義務は、商品又は製品を引き渡す一時点において、顧客が当該商品又は製品に対する支配を獲得して充足されると判断し、引き渡し時点で収益を認識しております。

5. リース取引の処理方法
 - リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を採用しております。

6. グループ通算制度の適用
 - グループ通算制度を適用しております。

7. 消費税の会計処理方法
 - 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方法によっております。

【貸借対照表に関する注記】

1. 貸借対照表および損益計算書の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 資産に係る減価償却累計額	569,235 千円
3. 支配株主に対する金銭債権および金銭債務	
短期金銭債権	386,756 千円
短期金銭債務	6,914 千円

【税効果会計に関する注記】

1. 繰延税金資産の発生の主な原因	
賞与引当金	15,577 千円
退職給付引当金	33,730 千円
品質対策引当金	20,391 千円
棚卸資産評価損引当金	3,942 千円
棚卸資産廃棄損引当金	1,829 千円
その他の	6,896 千円

繰延税金資産合計	82,365 千円
----------	-----------

2. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、当事業年度から、グループ通算制度を適用しております。また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第 42 号 2021 年 8 月 12 日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

【当期純利益金額】

当期純利益金額	388,319,691 円
---------	---------------